

PCSA アクションレポート(依存問題対策プロジェクトチーム)

平成 30 年 10 月版

第 19 回依存問題対策プロジェクトチーム

開催日時 平成 30 年 10 月 27 日（土） 午前 9 時 30～正午 12 時

開催場所 PCSA 会議室

出席人数 メンバー6名、合計6名

出席者 <リーダー>

辻 良樹 株式会社ダイナムジャパンホールディングス 法務グループ グループ長

<サブリーダー>

荒田 政雄 夢コーポレーション株式会社 監査役

<メンバー>

玄 昌起 株式会社ダイナム 営業推進部 業務担当

須藤 暁 株式会社ダイナム 法務・リスク管理部 リスク管理担当

住谷 一真 夢コーポレーション株式会社 運営推進部 部長

武内 好努 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 営業支援部 兼 監査室 課長

1) 第 1 回ギャンブル等依存症対策推進本部会合 議事次第について

平成 30 年 10 月 19 日に開催された第 1 回ギャンブル等依存症対策推進本部会合の議事次第の内容を確認した。10 月 19 日の「第 1 回推進本部会合」で「ギャンブル等依存症対策推進」の「基本計画案」の内容検討と「関係者会議」の委員の人選と任命を執り行い、「関係者会議」からの「意見聴取」を経て「パブリックコメント」の募集、平成 31 年 4 月には「ギャンブル等依存症対策推進基本計画 閣議決定」、5 月 14 日～20 日は「ギャンブル等依存症の問題啓発週間」と設定されていた。PT（プロジェクトチーム）では、5 月啓発週間で広告宣伝系の規制が出るのではという予測、それに伴う動向として昨今ライター系 SNS 系の広告規制が更に厳しくなっているとの情報が寄せられた。

2) 安心パチンコ・パチスロアドバイザー 講習会 要請について

前回の PT にて、全日遊連へ安心パチンコ・パチスロアドバイザー講習会の開催や開催告知、その受講までの流れの改善をお願いする件で、事務局より事後報告がされた。メンバーからは、「徐々に状況は改善されてきている」「具体的に受講ができていない店舗数が知りたい」といった意見が出た。その結果、昨年 2017 年 11 月に実施された全都道府県店舗における PCSA 会員店舗の安心パチンコ・パチスロアドバイザーの在籍人数アンケートを今年も実施、次月までに集計する予定となった。

3) 公営ギャンブル依存問題対策について

事務局より公営ギャンブルの依存対策担当者との非公式な会話内容について報告がされた。家族申告プログラムにおける本人同意や医師の診断書、収入証明書の提示、あるいは「外形的にギャンブル障害の状況にある」などと認定される実際について、情報を共有した。

4) 世界宝くじ協会の「責任あるゲームフレームワークと認証」について

世界宝くじ協会（以降、WLA）は、82 カ国 151 の宝くじ運営団体が集まっている団体。そこで 10 のプログラム要素として、

1. 研究
2. 従業員プログラム
3. 販売店プログラム
4. ゲームデザイン
5. リモートゲームチャンネル
6. 広告およびマーケティングコミュニケーション
7. プレーヤー教育
8. 治癒の紹介
9. ステークホルダーエンゲージメント
10. レポートと測定

が上げられており、これらの要素を満たすことで WLA から 4 段階のレベルで認証を得られる。

レベル 1「コミットメント（委任）」では「WLA のメンバーとなりレスポンシブルゲーミング（以降、RG）プログラムを進めるという約束をした」

レベル 2「自己評価とギャップ分析」では「組織が原則に対応するためにどのような RG プログラムを開発する必要があるか決定した」

レベル 3「計画と実施」では「特定の RG プログラムを実施するための計画、タイムテーブル、予算の策定した」

レベル 4「継続的な改善」では「日々の業務に特定のプログラムを導入済みで、継続的な改善がなされており、提出書類には外部評価者からの報告書が添付されている」

一方、WLA の認証を受けるには公的な組織である必要があり、現状民間の企業や団体では不可能だが、仕組み自体に学ぶべき点が多いと説明された。

メンバーからは、「海外では、宝くじが参加人数の最も多いギャンブルと認識されており、日本と認識が異なる」、「WLA のこのプログラムでは、従業員プログラム、販売店プログラムを詳しく学びたい」等の意見が出された。

5) ワンデーポート勉強会について

<概要>

開催日：平成 30 年 12 月 15 日（土）

時間：午前 10 時 30 分～12 時（90 分、ご講演 1 時間、質疑応答 30 分）

場所：PCSA 会議室

講師：認定 NPO 法人ワンデーポート 施設長 中村 努 様

テーマ：『認定 NPO 法人ワンデーポートの活動について』（案）

サブテーマ ・依存を病気と決めつける問題

・ホールとワンデーポートの関係について

・ホールに求める事

・解決に向けてより効果を高める為にはどうすれば良いか

進捗、概要について事務局より説明があった。以前にワンデーポートのセミナーに出席したメンバーからは「具体的な事例に踏み込み、それに捌め手のお話をされることが多い」と説明があった。他メンバーからは、ワンデーポートの活動内容や、中村努氏が「依存に陥ることを病気と決めつけることには問題がある」と考えるに至った経緯などをお聞きしたいなどの要望が出た。

6) IR 誘致 地方自治体リスト 報告

前回の PT にて、IR 誘致している自治体で依存対策のセミナーを開催している事例があり、情報収集のためにそういった自治体のリスト作成を事務局が依頼され、今回事務局がそのリストについて報告をした。なお、肝心のセミナー開催の情報はほとんどが事後報告でしかなかったが、海外 IR 事情の勉強に非常に参考になる資料

を発見、PT 内で情報を共有した。具体的には、東京都の「海外における特定複合観光施設に関する調査分析業務委託報告書」内に「第 5 章 ギャンブル依存症対策」があり、オーストラリアのニューサウスウェールズ州、ビクトリア州、クイーンズランド州、英国、アメリカのマサチューセッツ州それぞれの状況や対策が記載されている。今回は、「5.1 ギャンブル依存症対策の体制」「5.2 カジノ施設の利用制限等」「5.3 広報啓発」の内容を確認、共有した。

7) 依存問題対策団体の定期通信報告について

- ・RSN : さくら通信 138 号
- ・RSN : 安心娯楽通信 17 号
- ・ワンダーポート : ワンダーポート通信 2018 年 10 月
- ・一般社団法人グレイス・ロード : アメイジング・グレイス 第 9 号

上記資料の内容を確認、メンバーからは、依存絡みで広告宣伝規制が今後厳しくなる、午後 4 時～午後 10 時までの電話相談窓口の受付が RSN に一本化される、等の情報が寄せられた。

8) 次回開催

平成 30 年 11 月 17 日（土）
午前 9 時 30 分～正午 12 時
PCSA 会議室にて

以上